NEWS RELEASE

2026 年 11 月６日

「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

ＪＲ北海道では本格的な冬を迎えるにあたり、「令和８年冬の交通安全運動」の実施期間にあわせて、**路面凍結等により車が踏切手前で止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する「冬型」の踏切事故を防止するため、**「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地でドライバーの皆様に「踏切手前では早めのブレーキで確実な一旦停止」、「万が一踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めてまず脱出」、また**「踏切内で車が動けなくなった時は非常ボタンや発炎筒等で列車を止める」**ことなどを呼びかけます。





≪踏切キャンペーンの様子≫

■実施期間

2026 年 11 月 13 日(金)から 11 月 22 日(日)までの 10 日間

■実施内容

・駅構内でのデジタルサイネージ等による踏切事故防止の呼びかけ
・踏切等でのポケットティッシュやリーフレットを配布して呼びかけ
・列車内での車内放送や特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
・ラジオ放送による踏切キャンペーンの告知とラジオＣＭによる踏切事故防止の呼びかけ
・関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問して呼びかけ

＜冬期における踏切事故＞

ＪＲ北海道では、今年度、踏切障害事故が３件発生し、**このうち２件は警報機や遮断機が設置されていない踏切で発生しています。**近年は**冬期間に踏切事故が発生する傾向**にあり、十分な注意が必要です。また、踏切事故には至っていませんが、警報機が鳴り始めてからの車の直前横断や立ち往生、非常ボタンの動作などで列車が緊急停止した件数は今年度**１０月末時点で２３０件発生しております。**

冬本番を迎えるこれからの時期は、**車がスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する「冬型事故」の発生が懸念されます。**天候や路面状況に応じて慎重な運転を心がけ、踏切手前でのスピードダウンと早めブレーキによる確実な一旦停止を呼びかけてまいります。